

レアメタルと気候危機 「脱炭素」の裏で

気候危機対策として期待が寄せられる

再生可能エネルギー・電気自動車などの脱炭素技術。

しかし、その普及には大量のレアメタル(希少鉱物)が必要とされ、

産出地では「脱炭素」を名目とする鉱山開発によって自然環境が破壊され、

そこで暮らしてきた人びとの暮らしも奪われようとしている。

気候危機対策のために犠牲が許されるのか？

【監督・撮影・編集】松本光(国際環境NGO FoE Japan)

【協力】国際環境NGO FoE Japan

【制作】特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター(PARC)

2024年 / DVDまたはオンラインでストリーミング視聴 / カラー 42分



PARC DVD

国際理解・国際協力・環境教育・消費者教育に役立つDVDです。
マスコミが伝えない世界各国の人びとの声、社会のしくみについてお伝えします。

私たちの暮らしに欠かせなく、 気候危機対策にも必要とされるレアメタル

— その採掘のために誰かが犠牲にされてよいのか？

激しさの増した豪雨、異常な熱波、氷河の消失など気候変動はすでに目に見える形で私たちの世界に危機をもたらしています。その対策として多くの国は近い将来に温室効果ガスを削減する目標を立てて、実行に移しています。

しかし、ほとんどは再生可能エネルギーの拡充と電気自動車の普及を目指すものであり、どちらも大量のレアメタルを必要とする技術です。中でもニッケルは限られた場所でしか採掘できないにも関わらず、生産量を倍増しなければ気候危機が避けられないと世界銀行や国際エネルギー機関は試算してきました。それほどのニッケルをいったいどこから採掘するのでしょうか？

ニッケル生産地を取材した私たちは、多くのニッケルを産出しているインドネシアやフィリピンで、ニッケルのために土地を奪われ、森が破壊され、水を汚されている人びとと出会いました。気候危機は差し迫った問題であり、対応が急がれます。しかし、誰かを犠牲にした対策でよいのでしょうか？ 現場からの声を紹介するとともに「誰も取り残さない」気候危機への対策や「ビジネスと人権」のあり方を考えます。



世界的なニッケル需要の高まりを背景に、採掘範囲の拡大が進められているフィリピンのリオツバ鉱山とインドネシアのソロワコ鉱山。広大な土地が切り拓かれ、先住民をはじめとする人びとの暮らしに影響が及んでいる。



鉱山から流れ出す土で濁る川。漁業への影響に加え、リオツバ・ソロワコ両鉱山の付近では、河川や生活用水から世界保健機関(WHO)の定める基準値を超える六価クロムが検出されており、健康被害が懸念されている。



リオツバ鉱山で進む四倍近い規模への拡張計画。貴重な自然林が失われるだけでなく、先住民にとっては伝統的生活と結びついた土地が奪われることにもなる。だが、その決定に自分たちの声は反映されていない、と住民は語る。



ソロワコ鉱山拡張計画の候補地で農家を営む女性。コミュニティとしてコショウ栽培に取り組むことで貧困を抜け出すことができた。鉱山のために立ち退きを迫られれば、そのすべてを失ってしまう、と反対の声を上げる。



ソロワコ鉱山に影響を受ける住民たちは鉱山会社に対する抗議活動を行ってきたが、不当逮捕や長期間の拘留など、抗議する住民への威圧行為も強められ、「開発ありき」の計画を前に、住民たちは心身とも疲弊させられている。

2024年
2月
発売



レアメタルと 気候危機

「脱炭素」の裏で

2024年 / DVDまたはオンラインでストリーミング視聴 / カラー42分

一般価格 **4,500円** + 税

図書館価格:15,000円 + 税

上映会を開きませんか？

全国各地での上映会開催を呼びかけています。
地域やグループでぜひ企画ください。

●事前にDVDをご購入ください ●DVD代金と別に、上映料(1回1万円+税)×上映回数がかかります。●詳しくはPARCのウェブサイトをご覧ください。●オンライン上映会をご希望の方は事務局にご相談ください。

DVDのご購入・上映会開催申込み・お問い合わせは



特定非営利活動法人
アジア太平洋資料センター
(PARC)

PARC

検索

TEL 03-5209-3455

E-mail office@parc-jp.org

<http://www.parc-jp.org/>

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F FAX: 03-5209-3453